

PTOT 生命科学に対する学生評価と教員のコメント（林要喜知）

PTOT生命科学の学生評価表								
科目名	PTOT生命科学	教員名	林要喜知	強く思う (5)	やや思う(4)	どちらともいえない(3)	あまりそう思えない(2)	まったくそう思えない(1)
履修態度	Q1.事前に十分な予習をしましたか。			5	4	3	2	1
	Q2.授業に毎回積極的に参加しましたか。			5	4	3	2	1
	Q3.授業中に講義内容を理解する為の努力をしましたか。			5	4	3	2	1
	Q4.毎回講義の復習を十分にしましたか。			5	4	3	2	1
目標達成	Q5.最終的に講義の目標を達成することができましたか。			5	4	3	2	1
科目内容	Q6.あなたにとって講義全体の難易度は適切でしたか。			5	4	3	2	1
	Q7.講義を履修することで学習意欲は増しましたか。			5	4	3	2	1
総合評価	Q8.この講義は全体として満足出来るものでしたか。			5	4	3	2	1
自由記載欄	Q9.講義に対する意見やコメントがありましたら、ご自由に記載願います。							

PTOT1年生による生命科学の授業評価のまとめ								
質問項目	学生自身の履修態度				目標の達成度	科目内容		総合評価
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
平均点 (5点満点)	2.9	3.9	3.9	2.9	3.4	3.2	3.9	4.1

Q9（具体的コメント）

- 先生の生命科学に対して熱意が感じられる授業でした、とても面白かったです。
- 5～10分休憩を毎回とってくれたのはとてもありがたかったです。
- 先生のお話に興味が引かれる内容が多く、面白かったです。ありがとうございました。
- スライドなど難しかったけれど、知りたかったことも知れて良かったです。お疲れ様でした。
- 楽しく学ぶことができました。
- 少し難しい内容(専門的なこと)もあって、どういうことか理解に時間がかかった時もありましたが、新しく生物のこと、人間の体のしくみを知ることが出来て楽しい授業でした。
- 講義は面白く良かったです。
- 私は生命科学をやって科学系に興味をもてました。ありがとうございます。
- リモートでの授業が多かったけれど、しっかり集中できて授業ができたのがよかった。
- 90分をフルでまわさず、10分程度の休憩があることによってとても集中して取り組めた。
- covid-19 について自分の知らなかったことが知れて面白かったです！半年間ありがとうございました！
- 沢山興味湧いて授業が楽しかった。
- コロナについて深く学ぶなど生活をする中で身近にあることをまなぶことができて良かったです。
- 講義の中で難しい内容もあったので、質問用紙があって助かりました。
- 少し配付するプリント量が多すぎた気がするのですが、可能であれば、量を減らした方がよいと思った。先生の生命科学に対する熱意がすごく伝わってきた
- とても細かく説明していたのが印象深いです。わかりやすかったです。
- 習ったことのない言葉が沢山の出てきたので難しい授業だなと感じることもあったのですが、普段の生活に役立つところもあったので、すごく身になった。

- ・面白く興味のあるものであったが、難しい内容のものも多く、就いて行けないと感じる内容もありました。高校で生物をならわなかったので、勉強を始めた切っ掛けになったのは良かったです。
- ・高校で生物基礎を学んでいたので、何となく知っている言葉、内容はあったのですが、ちょっと難しいところも合って、個人的によくわからなくなっていました。ただし、感染症についての講義が合ったので、実生活に関連があつて講義を受けていて勉強になりました。ありがとうございます。
- ・分からないとすぐあきらめる、寝てしまって先生には申し訳ないことをしてしまいました。また、先生の授業を受けるときは、その癖を直し、受けるように頑張ります。
- ・もう少し努力すればよかったのですが、授業についていけなくなった。
- ・高校で生物を学習しなかった人にとってはなかなかハイレベルな講義だったと思います。習っていても何となく理解出来る程度でした。
- ・もうちょっとわかりやすい講義にしていきたいです。
- ・面白い講義でありましたが、OTPTに何の関係があるのかとも分かりずらかったです。後、すごく難しかったです。

担当教員からのコメント

まず、PTOTの1年生に皆さんへのフィードバックが遅れ、申し訳ありませんでした。総合評価(Q8)は4.1でありましたので、決して良い結果ではありませんでしたが、まあまあであったと受け止めております。しかし、同時に反省すべき点が多々ある状態ともいえます。約70%の学生さんが具体的なコメントを記載していただきましたので、その意見を真摯に受け止めながら、今後の授業改善に活かしたいと思っております。

具体的なコメントは、大きく「興味深かった」というものと「難しかった」というものに2分されます。まずは、難しかったというコメントを考慮し、より理解しやすい講義資料に改善したり、講義資料を早めに配付できるような創意工夫を行います。講義の途中から復習のための確認テストを導入したのはオンライン授業対策ではありましたが、予習資料の作成(講義での理解を助ける補足資料)も取り入れます。一方、「日常生活と関わるテーマもあり、身近に感じられ、興味深かった」というご意見もありましたので、さらに興味や関心を深めてもらう授業内容の充実もはかりたいと考えます。

残念なことは、令和2年度はコロナ禍で講義形式も、対面、オンライン、対面と変化してしまったことでした。学校生活でも、3密防止対策で何かと不自由な状況であったことかと感じます。本講義の展開も2ヶ月ほど遅れた間延びの講義になってしまい、皆さんの学習意欲をそぐような状況を申し訳なく思います。この一年の経験を活かして、本講義のシラバス展開も含め、皆さんの視点から改善すべき点をさらに洗い出し、満足度の高い講義にしたいと考えています。

今後、学年が進んで行く中で、もし興味を持った学習内容が私の専門分野と重なることがありましたら、そのような折にはいつでも議論に来て下さい。一緒に学びを深めましょう。